

令和2年度 第1回 米子市児童文化センター運営委員会 発言要旨

1. 駐車場の使用方法と周知について

(委員)

駐車場の導線について、拡張の計画当初は日本庭園側から進入して裏側から出ると説明されていたかと思うが、統一して周知されていない。利用者が分かりやすいように経路を周知した方がよい。進入路側から出てもよいということであれば都合はいいが、大きな車の場合にすれ違いが難しいことも有り得る。利用者が迷われるので、迂回して裏口から出たいのであればそのように決めて周知してほしい。

(事務局)

今まで使っておられた方からすれば、進入路側から出るという認識になっているところがある。拡充の際、駐車場内の路上（多目的ホール裏付近）に進行方向を表示する白い矢印をつけているので、この印から先はUターンせず裏側出口から出ることを想定している。このような運用方法について改めて確認し、利用者への啓発に努めていく。

2. 職員研修について

(委員)

事業を運営するにあたり、どのような研修会に参加しているか実績を示してもらいたい。県内でも子育て支援や家庭教育に関する研修会が多く開催されている。基盤の事業を運営するにあたり研修は必要であり、事業の組み立ての際に有利ならば資格を取っておいた方がよいので、職員の人材育成のために検討してもらいたい。

(事務局)

研修は資質のスキルアップに非常に重要な手段のひとつであると認識している。改めて研修実績を確認し、後日資料を送らせて頂く。指定管理者の更なるスキルアップにむけて協議検討していきたい。

3. アンケートについて

(委員)

アンケート数が少なく感じるが、工夫している点を教えてもらいたい。

(事務局)

利用者アンケートは自主事業の参加者をお願いしているが、今年度から研修室、多目的ホール等を専用使用される方に関しても個別にアンケートをお願いするようにしているので、集計結果は来年度の報告に反映させたい。しかし、コロナウイルス感染防止対策のために利用の制限を行っており、多くのアンケートが回収出来るかどうか難しい状況である。アンケートの際には、プラネタリウム他自主事業に関してのアンケートを優先して依頼しており、同じ利用者にも何枚もお願いすることがないようにしている。

4. 新型コロナウイルス感染症対応について

(委員)

自動検温器等の設置について検討しているか。入口に消毒液はあるが、全員が手を消毒しているかをカウンターから確認することは難しい。マスクをしていない大人には直接注意喚起を行ってもらいたい。職員は大変だと思うが、出来る限り対策を取るよう検討してもらいたい。

(事務局)

自動検温器は用意しているが、運用する中で、子どもの場合は職員が測らなければ難しい面がある。消毒液に関しては受付窓口の方から見える限り協力をお願いをしており、1時間に1回館内放送で呼びかけを実施している。自主事業及びプラネタリウムについては必ず入口で検温させてもらい、消毒を目の前でやってもらっている。施設利用者だと特定出来る方にはマスクの着用等を含めて新型コロナウイルス対策を呼びかけるが、トイレだけなど一時的な利用の方もいるので、どこまで声掛けをするかは状況で判断する。